



〒854-1112 諫早市飯盛町開1929-3 ふれあい会館内 ☎48-0518(直通)

今年も残すところ、あとひと月です。むかしから12月の13日は「正月事はじめ」といわれお正月の準備をはじめる日とされています。図書室では、おおそうじや新年のしつらいに関する本なども取り揃えています。ぜひご覧になってください。

12月のおはなし会

- ☆ 12月26日(土) 11:00~11:30
- ☆ 場所…飯盛図書室
- ☆ 対象…幼児・小学生
- ☆ 内容…「こころあたたまるおはなし」
絵本・紙芝居など

図書室カレンダー

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■は、休室日、○はおはなし会やイベントの日です。



生命は
自分自身だけでは完結できないように
つづられているらしい
花も
めしべとおしべが揃っているだけでは
不充分で
虫や風が訪れて
めしべとおしべを仲立ちする
生命はすべて
その中に欠如を抱き
それを他者から満たしてもらうのだ
私は今日、
どこかの花のための
虻だったかもしれない
そして明日は
誰かが
私という花のための
虻であるかもしれない

奈々子にー 吉野 弘詩集



参加ありがとうございました

11月6日(金)に 飯盛図書室の読書週間講座「作って楽しい消しゴムはんこ」の教室を開催しました。“難しかったけど楽しかった”“無心になれた”などの感想がありました。和やかな雰囲気の中、作業に没頭してみんなで楽しい時間を共有することができました。

細かい作業に集中しました →



【年末年始の休館日のお知らせ】

12/28(月)~1/4(月)

※休室中の本の返却は、「返却ポスト」へお願いします。

ただし、壊れやすいCDやDVDなどは開室日にカウンターへご返却ください。ご協力よろしく申し上げます。

本の福袋をします

テーマにそって図書館員が選んだ本5冊とおまけが入っています。新年の始まりに意外な本との出会いがあるかもしれません。お楽しみに!

1/5(火)より~なくなり次第終了

いのち
生命は

【一般】 **あたらしく入った本**

『ふなふな船橋』（吉本 ばなな／朝日新聞出版）

書店の店長・立石花は12歳の時に一家離散し、親戚のおばさんと船橋で暮らすように。その頃から少女が出てくる夢を何度も見るが…。『朝日新聞』連載を単行本化。

『運命の花びら上・下』（森村 誠一／KADOKAWA）

吉良邸討ち入りによって仲を裂かれた赤穂浪士・前原伊助と、吉良家の奥女中・千尋。以後、日本の歴史を彩った節目に、ふたりの家系に連なる者たちが幾度も巡り会い…。『北国新聞』連載を加筆修正し書籍化。

『わかれ』（瀬戸内 寂聴／新潮社）

親しい友人も肉親も、愛した男たちもすべて、もうこの世にはいない。病を乗り越え、90歳を過ぎてなお、書かずにはいられない衝動に突き動かされ、紡ぎ出された珠玉の小説9編。『新潮』他掲載を単行本化。

『下町ロケット 2 ガウディ計画』（池井戸 潤／小学館）

ロケットのエンジン部品開発で倒産の危機を切り抜けてから数年。町工場・佃製作所は、またしてもピンチに陥っていた。そんな時、多くの心臓病患者を救う医療機器「ガウディ」の開発依頼が持ち込まれ…。

その他新刊

◆	ボス・イズ・バック	笹本 稜平	光文社
◇	ペンギンのバタフライ	中山 智幸	PHP研究所
◆	「芸」と「能」	清水 ミチコ	幻冬舎
◇	はんなり京都の歩きかた		自由国民社
◆	女子のための髪育レッスン	浜中 聡子	辰巳出版
◇	スカーフ&ストールアレンジ手帖		ブティック社
◆	季節の花を描く	中津 宜子	誠文堂新光社

【児童】



『まよいねこポッカリをさがして』（長井 理佳／アリス館）

「ポッカリ」って、なによ！うちのねこはシュガーなのに、ポッカリだなんて言われて、いなくなっちゃったの。小学校4年生のサラが、ポッカリの謎と、シュガーを探す冒険のお話。

『めざせ！動物のお医者さん』（きむら ゆういち／講談社）

元気がないネコのノンピを連れて動物病院にやってきた翔太。心配だったけれど獣医さんはテキパキ診察してくれて…。おはなしを楽しみながら、あこがれのお仕事がよくわかる本。職業への理解がさらに深まる「まめちしき」つき。

『コルチャック先生』（フィリップ・メリュ／汐文社）

子どもがひとりの人間として大切にされるよう、子どもの権利を求めて活動しつづけたコルチャック。だが第二次世界大戦中、ユダヤ人だった彼は強制収容所に連行され…。巻末に、豊富な写真を用いた解説も収録。

そのほかの新しい本

☆ちいさなかまいじゅうモッタ

イヴオンヌ・ヤハテンベルフ

福音館書店

☆白をつなぐ

まはら 三桃

小学館

☆ビジュアル日本のお金の歴史

岩橋 勝

ゆまに書房

【私のイチオシ！】

『おいちゃんのコート／バーバラ・マクリントック ほるぷ出版』

おいちゃんの人生によりそって、大切にされたコート。最後はかげもかたちもなくなって、残ったのは…。長く愛されてきたイディッシュ語の民謡「ぼくはすてきなコートをもっていた」をもとにしたお話です。読んでみてね！

